

2010

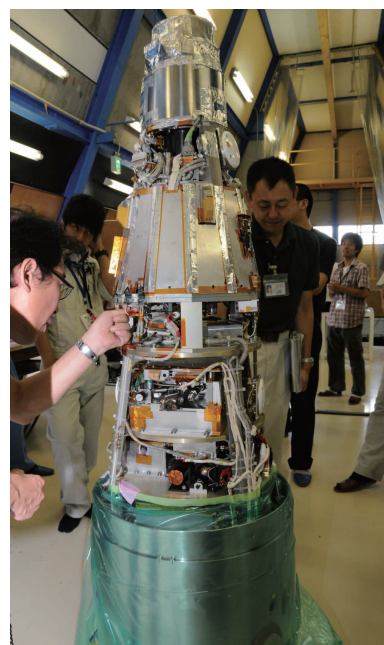
2月7日	「おおすみ」40周年記念 シンポジウム(科博)
4月1日	宇宙科学研究所へ名称変更
5月21日	H-IIA-17で「あかつき」 「イカロス」打上げ(種子島)
6月13日	「はやぶさ」地球帰還 翌日カプセル回収
6月29日	「はやぶさ」 カプセルから微粒子発見
8月31日	S-520-25、電離層中 におけるEDTの基礎実験、 微小重力環境下のテザーを 用いたロボットの姿勢制御 実験
10月29日	「おおすみ」40周年記念 シンポジウム(科学技術館)
11月16日	「はやぶさ」 カプセル内の微粒子 イトカワ由来と判断
12月4日	「おおすみ」40周年記念式典 (内之浦)
12月5日	内之浦宇宙空間観測所 特別公開
12月7日	「あかつき」金星周回軌道 投入失敗



S-520-25 と実験班



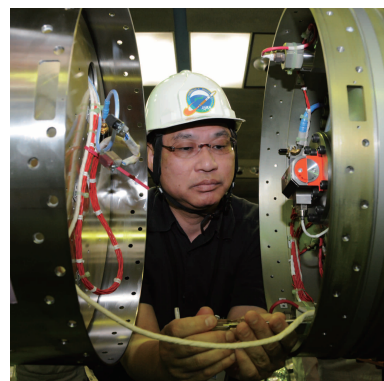
S-520-25 打上げ



搭載機器チェック



S-520-25 ランチャ載せ



搭載機器の配線



「おおすみ」40周年記念式典



大勢の来客



実物大の「おおすみ」の模型も展示



NASAの航空機から撮影した、大気圏に突入した小惑星探査機「はやぶさ」。ばらばらになった本体とみられる多数の火の玉と、右下には分離したカプセルとみられる明るい点が見える。＝13日(NASA提供)

ひと

小惑星「イトカワ」の砂採取に挑む宇宙探査機「はやぶさ」の回収カプセルが、12月13日、九州大学大学院に到着した。回収カプセルを運ぶトラックが、九州大学大学院に到着した。回収カプセルを運ぶトラックが、九州大学大学院に到着した。

「はやぶさ」のカプセル開封に立ち会う九州大助教 岡崎 司さん



長年、小惑星探査機「はやぶさ」の回収カプセルを開封に立ち会う九州大助教 岡崎 司さん。回収カプセルを開封に立ち会う九州大助教 岡崎 司さん。回収カプセルを開封に立ち会う九州大助教 岡崎 司さん。

「はやぶさ」の回収カプセルを開封に立ち会う九州大助教 岡崎 司さん。回収カプセルを開封に立ち会う九州大助教 岡崎 司さん。回収カプセルを開封に立ち会う九州大助教 岡崎 司さん。

はやぶさカプセル回収

破損なし 日本へ17日にも空輸

小惑星の砂期待



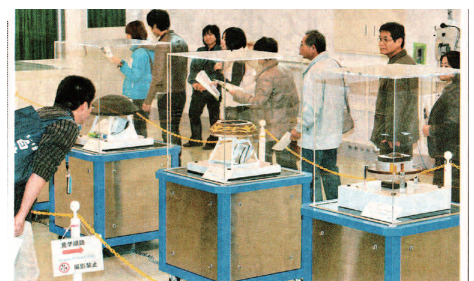
オーストラリア・ウーメラ近くで発見された小惑星探査機「はやぶさ」のカプセル。オーストラリア・ウーメラ近くで発見された小惑星探査機「はやぶさ」のカプセル。



当時の貴重な新聞



肝付町のスタッフは法被姿



はやぶさお帰り

母港内之浦でカプセル公開

約3億年離れた小惑星「イトカワ」の微粒子を持ち帰った小惑星探査機「はやぶさ」のカプセルが、12月5日、母港の内之浦市市民会館で公開された。公開されたカプセルは、約3億年離れた小惑星「イトカワ」の微粒子を持ち帰った小惑星探査機「はやぶさ」のカプセル。

2011

1月12日 イプシロンロケットの
打上げ射場、内之浦に決定

3月11日 東日本大震災発生

6月13日 「はやぶさ」
【世界で初めて小惑星から
物質を持ち帰った探査機】と
してギネス世界記録に認定

10月30日 内之浦宇宙空間観測所
特別公開

11月24日 「あかり」運用終了

12月19日 S-310-40
夜間中緯度電離圏領域
における電波伝搬解析実験

12月27日 「はやぶさ」がサイエンス誌の
「科学分野における今年の
10大成果」に選出



S-310-40 打上げ



S-310-40ドーム内ランチャセット



S-310-40 ランチャセット

[illegible]

2011年(平成23年)5月1日 日曜日 第176号

ロケット打ち上げのシーンの演技指導を受けるエキストラ
＝23日、肝付町の内之浦宇宙空間観測所

映画「はやぶさ」10月公開

竹内結子さん主演

肝付町の内浦宇宙空間観測所から打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」をテーマにした映画「はやぶさ」11月4日(金)に公開される。主演は女優の竹内結子さん。脚本は米国の20世紀フォックス映画と阪神製作映画会が制作し、東宝配給。は30日、主演の竹内さんとエキストラの10月1日に公開の予定をした。

監督「明日の記憶」と「20世紀少年」シリーズの堤幸彦氏。竹内さんは、宇宙科学研究所・堀・宇宙航空研究開発機構(JAXA)の巻城助手長、竹内薫さん(司役を西田敏行さん)演じるほか、新野史郎さん、高橋敬三さんらもエキストラとして出演する。

映画は、開演から10月3日までの打ち上げ小惑星ツアーカマドのサンループ旅を経て、10月6日に帰還するまでの研究員たちの挑戦と奮闘を描く。

町民がエキストラ出演

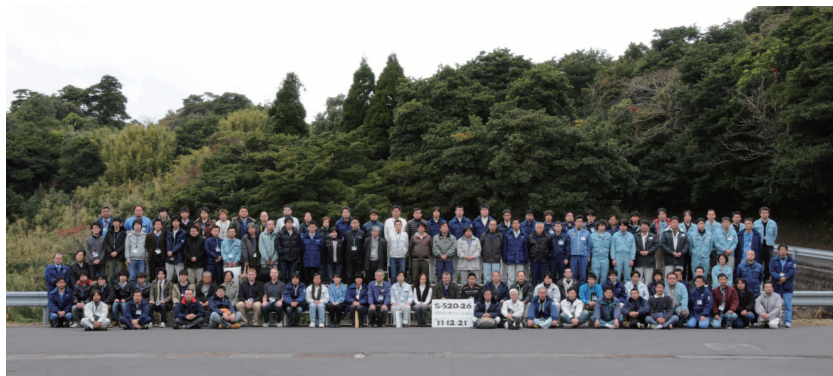
映画「はやぶさ」は、10月4日(金)から神戸市東灘区相模川町のJAXA施設で撮影がスタート。23～25日以内之浦宇宙空間観測所などロケが、翌が主として行われる。17日下関市ランディング(撮影終了)後、福岡県から企画制作の「はやぶさ」の井上雄二(ロケリサイ50)は「奇跡といわれる瞬間を知りたい、ない事実を知る時、旅を続ける精神、努力の果てに出会いたい」と話した。米フジテレビが17日映画製作の妨げを、宮城での公開を希望する。

2012

1月12日 S-520-26、熱圏中性大気と
プラズマの結合過程
解明実験

5月21日 金環日食、日本各地で観測

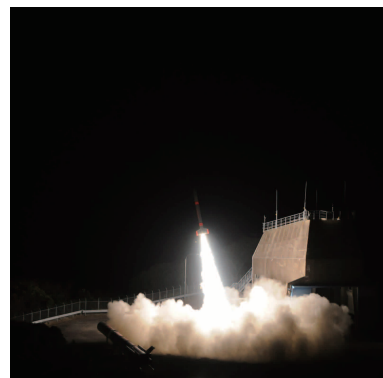
8月7日 S-310-41、小型インフレー
タブルカプセルの飛行実験



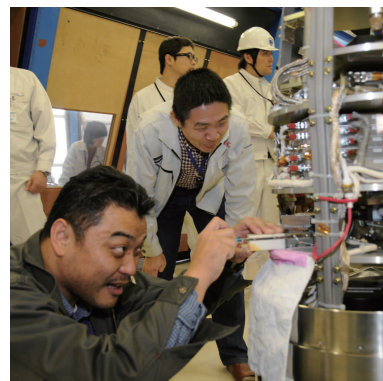
S-520-26 集合写真



S-520-26 ランチャセット



S-520-26 打上げ



S-310-41 搭載機器組付け



レーダセンター

内之浦宇宙空間観測所の50年

発行 2012年11月1日

発行者 宇宙航空研究開発機構

編集 『内之浦宇宙空間観測所の50年』記念誌編集委員会

JAXA宇宙科学研究所

〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1

デザイン マックグラフィックアーツ

印刷 フジブランド

協力 南日本新聞社